



令和6年度 諫早市立小野中学校 学校便り 第11号

【小野中HP】

わかばと



校訓：自主・積極

令和6年12月16日

学校教育目標：自他を認め、共に高め合う生徒の育成

校長 西山 敏明

新制服ワッペン
若鳩と小野平野の稲穂がモチーフ

生徒会役員選挙が行われ、新生徒会役員が決定しました。12月5日(木)

次期生徒会役員を決めるため、11月28日から12月5日までの選挙運動期間中、選挙管理委員の立ち会いのもと、立候補者と応援者は熱心な選挙運動を行いました。そして、12月5日(木)5、6校時に、新生徒会役員改選のための立ち合い演説会と投票が行われ、次の5名の生徒が令和7年1月～12月の次期生徒会役員、生徒会執行部員に決定しました。

生徒会長： さん(2年) 生徒会副会長： さん(2年) さん(1年)
執行委員： さん(2年) さん(1年)

残念ながら今回は役員に選ばれなかった皆さんも、選挙戦で培った経験と力は、専門委員会の活動やクラスの代表など、他の活動で十分に発揮できることと思います。

これまでの生徒会役員は、学校行事や生徒会活動など、様々な場面で中心的な役割を果たし、小野中をより良い学校へと導いてくれました。心から感謝の気持ちでいっぱいです。

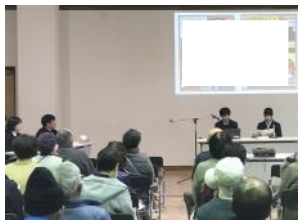
新生徒会役員には、先輩たちが築き上げてきた伝統を引き継ぎ、さらに発展させてほしいと期待しています。立候補の際、力強く表明したそれぞれの公約を実現するため、全校生徒と力を合わせ、小野中をさらに素晴らしい学校にしていきたいと思います。



『心温まるひととき』 小野公民館文化祭「絵本の読み語り」「作文朗読」「作品展示」

12月10日(火)、自主学習グループ発表会で発表させていただきました。今回は、1年生の さんが令和6年度「心の輪を広げる体験作文」で長崎県知事賞を受賞した『自分が変わること』、2年生の さんが第49回「ごはん・お米とわたし作文」で長崎県農業協同組合中央会長賞を受賞した『ごはんとお米に対する僕の愛』を朗読し、さらに、2年生の さん、 さんが絵本『十二支のお節料理』(川端 誠 作)の読み語りを行いました。

どの発表にも、皆さんが真剣に耳を傾けてくださり、とてもやりがいを感じた貴重な時間となりました。また、12月6日から12日までの期間、公民館のロビーにて、国語科、美術科、家庭科の作品を展示させていただきました。生徒の活躍の場を与えていただき、ありがとうございました。



1月の行事予定

- 8日(水) 始業式、生徒会役員任命式
1・2年：標準学力テスト
- 9日(木) 身体測定、生徒会引継ぎ式・総務任命式
1・2年：標準学力テスト
- 10日(金) 専門委員会
- 15日(水) 生徒会集会
- 17日(金) 2年：薬物乱用防止教室
- 19日(日) 家庭の日(部活動休み)
- 27日(月)～31日(金) 教育相談
- 28日(火) 2年総合学習発表会

来校予定日

- スクールカウンセラー(林田先生)
15日(水)、29日(水)
- 心の相談員(平間先生)
8日(水)、9日(木)、16日(木)、
20日(月)、23日(木)、30日(木)
- ALT(スチュアート先生)
8日(水)、15日(水)、22日(水)
29日(水)

小野中学校・鎮西学院高等学校 国際交流会開催 大成功！ 12月12日(木)

12月12日(木)、本校体育館にて、鎮西学院高等学校グローバル・イングリッシュコースの生徒の皆さんとの国際交流会を開催しました。鎮西高校の先生方や諫早市のALT3名にも支援していただき、1年生から3年生までの生徒が、英語で積極的にコミュニケーションを取り、貴重な経験を積むことができました。

今回の交流会では、異文化理解を深め、英語でコミュニケーションをとることを目的とし、次のような流れで行いました。

【オープニング】 代表生徒が緊張しながらも英語であいさつを行い、期待感が高まりました。

【アイスブレイク】 「アドジャン」を英語バージョンにアレンジした「English Addjan」を行うと、次第に笑顔が溢れ、緊張がほぐれていきました。

【グループワーク】 鎮西学院高等学校の生徒さんが中心となり、さまざまな国に関するクイズや紹介など、工夫を凝らしたアクティビティを企画してくれました。中学生は高校生と一緒に楽しみながら、異文化について学びを深めました。

【クロージング】 クリスマスソングの英語の歌詞を一度全員で音読し、高校生のみんなと一緒に歌いました。すると、突然、サンタクロースが現れ、中学生一人ひとりにサプライズプレゼントを贈ってくださり、会場は歓声に包まれました。

高校生のみなさんには、メッセージカードやプレゼンなどを時間を掛けて丁寧に準備していただき、とても素晴らしい貴重な時間を過ごさせていただきました。

中学生からは、「楽しかったぁ〜」「またやりたい」「もっと英語を勉強したい」などの感想が聞かれ、今回の交流会が生徒たちの学習意欲を高める良い機会となりました。



人権集会 蒲地 里奈さん 講演「私が見つめる 優しい世界」 12月13日(金)

12月13日(金)、5、6校時、人権集会を開催しました。今回は、蒲地(かもち)里奈さんを講師としてお招きし、演題「視点を変えることで、世界が変わる」～目の前にある国際貢献～と題して、お話していただきました。

蒲地さんは、2010年～12年に国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊員として北アフリカのモロッコに派遣され、現地の女性の収入向上のために活動されました。帰国後も半年ずつモロッコと日本を行き来しながら、女性たちの収入を安定させ持続可能なものにするために活動を継続されておられます。

まずは、モロッコという国の位置や特徴、文化についてお話いただきました。そして、蒲地さんが特に取り組まれている女性の仕事(モロッコの伝統的な刺繍)について現物や動画を紹介していただきました。

今回の講演では、途中みんなでワークショップを行い考えました。

課題【お腹をすかせた兄弟がいます。持続的にお腹を満たすにはどうすればいいでしょうか？】

蒲地さんの温かい言葉かけのおかげで、全校生徒から、多くの創造的なアイデアが飛び出しました。

「釣りを教える」「調理の仕方を教える」「種をまき、畑の作り方を教える」「海岸への漂流物でアクセサリーを作って売る」「塩田→大量生産」など。

今回の講演、ワークショップでは、普段生徒たちがなかなか考えもしない、想像もできないようなことを体験し、考えることができたことが大きかったと思っています。そして、生徒たちの今後の生活の中で、何かにチャレンジしてみよう、周りのことをもっと知ってみよう、周りに優しくしようなど、今までの自分から一歩踏み出し変わっていけると信じています。

今回の経験を生かし、国際理解を深め、より広い視野で未来を築いてほしいと願っています。

